

	和歌山大学 社会科学分野
学部等の教育研究組織の名称	経済学部（第1年次：330名、第3年次：10名） 経済学研究科（M：42名）
沿革	大正11（1922）年 和歌山高等商業学校設置 昭和19（1944）年 和歌山高等商業学校を和歌山経済専門学校に改称 昭和24（1949）年 和歌山大学経済学部設置 昭和41（1966）年 経済学研究科設置
設置目的等	昭和24（1949）年に、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、的確に判断し創造的・実践的に対応できる人材を育成することを目的として、経済学部が設置された。 昭和41（1966）年に、高い専門能力を持ち経済社会において指導的役割を担える人材を育成すること等を目的として、経済学研究科が設置された。
強みや特色、社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>和歌山大学における社会科学分野においては、真理の探究を図るとともに、地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等を踏まえ、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】 (学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経済学の学問分野の教育研究を通じて、経済学、経営学、市場環境学の視点から現代社会の課題にアプローチし、課題解決に必要なより高度な専門知識、実務能力及び行動力を兼ね備えた人材を養成する。 ○ このため、初年次からの少人数教育や国際経済などの専門性の高い教育を行う「エキスパート・コース」での特別修学、飛び級制度の導入等を実施している。 ○ 今後、「エキスパート・コース」の強みをさらに伸長させるとともに、効果的な教育方法を学士課程全体に組み込むなどのカリキュラム改革に取り組む等、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ、体系的な教育課程を編成するとともに、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備すること、また、これらの取組の実施だけで

はなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 高い専門能力を持ち経済社会において指導的役割を担える人材、優れた分析能力に基づいて戦略的意思決定を担う高度な専門職業人及び厳密な学問的方法論や幅広い見識を身に付けた研究者を養成する。
- このため、統計や情報などの定量的方法を用いる授業と歴史や思想などの定性的方法を用いる授業を併せて開設し、正・副指導教員による個別の指導、複数の教員が研究へのアドバイスをを行う授業等により学生の研究をさらに多角的な視野のものとする体制を整備している。
- 多様な学問分野に接し様々な角度から経済社会にある現象を分析できる能力が求められているため、専攻分野の垣根を越えた指導が行えるような専攻の再編に取り組むなど、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、高度な専門性と同時に、包括的な課題対応能力を併せ持つ人材の養成を目指し、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 地域経済に関する学問分野における研究実績をいかし、高齢化、人口減少の課題を抱える地域における交通システムの在り方、それと密接に関わりあう地域商業の再生を通じた地域活性化に係る研究に取り組んでいる。
- これらの取組を通じて、産官学が連携した地域経済研究機関への参画、自治体審議会委員としての提言など地域のシンクタンクとして貢献している。また、研究成果が不動産協会賞を受賞している。
- 農林水産業の産業としての力が衰えることにより生じている地域の課題解決に取り組むなど、総合的な研究を組織的に推進するとともに、これからの日本の各地方が抱えることとなる諸課題に直面する地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- アジア圏、特に中国からの留学生を数多く受け入れ、出身国の経済発展に寄与し、また日本と出身国の架け橋になると期待される人材育成を重視していく。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織のあり方、規模等の見直しに取り組む。